

フットパスボランティアスタッフ

海外先進地視察研修報告

フットパスボランティアとして活躍されている宮川哲治さん(中ノ川)とボランティア事務局の三浦 賢(企画調整課)の2名がフットパスの本場イギリスを訪問しました。

その視察報告(要約)を紹介します。

視察場所：イングランド地方 時期：5月28日～6月5日



5/31

コッツウォルズ



本日は、コッツウォルズのブロックリーから北のチップピング・カムデンを目指す。ホテルを午前9時に出発。麦畑の端の幅30cmほどの道を進む。この辺りは丘陵地帯でコース沿いにはブナもあり、のどかな牧歌的風景が広がる。

標識の案内プレートに矢印は、黄色はフットパス、青色は自転車や馬も通れるブライドルウェイ、赤色は車を含めて全てが通行できるバイウエイと区別され、通行の安全が確保されている。

土地の境界には、所有者が整備しているゲートやスタイルと呼ばれる踏み台があり、小川には木橋が設置されている。ゲートは、パネで自動で閉まるものなど、工夫を凝らした跡を見ることが出来る。

午前11時50分、チップピング・カムデンに到着。昼食を取り、ブロックリーへ来た時とは違う道に戻る。

途中、間伐や枝払いをして管理されたブナの大木の並木道を通り、その先にブロックリーの街並みを一望することが出来る。ホテルには午後5時に到着。約20kmの行程となった。



▲フットパス(黄)とブライドルウェイ(青)の標識
▼1ステップのスタイル(踏み台)



6/2

ダートムーア国立公園



前日、コッツウォルズからダートムーアのボビートレーシーに移動。本日は、ダートムーアの中心でイングラウンドで一番標高の高いプリンスタウンからキングトアまでの廃線跡を利用したフットパスを歩く。

午前10時55分出発。コースには、砂利道で、曲がりくねったところもあり、歩いていて面白い。牧場には、柵がなく間近で牛や馬を見ることができ、フットパスの魅力を高めている。

午前11時45分、キングトアに到着。石の上に立つと大パノラマが広がっていた。このフットパスには、途中で標識がほとんどないが、プリンスタウンの近くに巨大なアンテナがあり、それを目印にすることで位置を確認することが出来る。小休止のあと、プリンスタウンに戻る。

ダートムーアの「ムーア」とは、ごっこつした岩肌が、大地からむきだし荒涼たる大地のことで、名の由来どおり、フットパスコースの近くには、崖や岩山を見ることが出来る。

午後1時30分、プリンスタウンに戻る。約10kmを歩いた。



▲曲がりくねった道
▼コースのそばには崖もある



6/3

トーキー



午前10時、本日のフットパスの出発地トーキーへ向かう。今日のコースは、イギリスで一番長いナショナルトレイル(国が管理するフットパス)で、コーンウォール半島を1周するサウスウエスト・コーストパス(総延長約980km)の一部の約3km。

トーキーのフットパスは、海食崖の絶景を見ながら海岸線を歩くことができる。所々に休憩用ベンチが置いてあり、ごみ箱まで置いてある所もあった。大観光地でもあるので、公園で日光浴を楽しむ人を見かける。犬と散歩するサンダル履きの女性とすれ違い、気軽に誰でも歩いている感じを受ける。

急な坂道には、木を使用した階段をが整備されているところもあり、海岸線の切り立った崖には、転落防止の柵が取り付けられ、利用者の安全を守っている。

今日、歩いた距離は約3kmということだが、体感ではもっと歩いたような気がする。



▲ドングリのマークはパブリックフットパスの印
▼レンガで造られた東屋



視察をとおして

イギリスのフットパスは、確かに歴史があり、国全体に縦横無尽に張り巡らされ、パブという地元の人が集まりお酒を飲み、食事ができる店が点在し、トータルでフットパスを形成している。

本町のフットパスのチョボシナイコースは、畦道や河畔を歩くことができ、東山の頂上ではすばらしい景色を見ることができ、西の沢コースは、森林公園をとおし、西の沢地区の牧歌的な風景を楽しめる。

また、始点・終点では、トワ・ヴェールと道の駅がパブの役目を担っている。

本町のフットパスコースは、本場イギリスと比べても何ら遜色なく、フットパスを存分に楽しむことができると感じた。



▶ 茅葺き屋根の民家をよく見かける



◀ 飲食の提供の他に、コミュニティの場として役目を果たすパブが、フットパスの重要な要素となっている

「黒松内のフットパスを歩こう」を開催



▲ 西の沢コースで黒松内の自然を満喫

7月1日、黒松内フットパスボランティアの主催により、「黒松内のフットパスを歩こう」が開催されました。今回は、寺の沢川遊歩道から西の沢コースを通りトワ・ヴェールまでの行程です。寺の沢川遊歩道は、約10年の歳月をかけて、市街地を横断する遊歩道と休憩用のベンチなどに加え、寺の沢川に直接ふれることのできるスペースも整備されました。

▼ 中谷牧場で小動物とふれあう



晴天に恵まれた当日は、町内外から60名が参加し、黒松内の初夏を感じながら約10kmのコースを歩きました。途中、中谷牧場(西の沢で休憩し、牧場で搾った牛乳で、渴いたのどを潤し、再びトワ・ヴェールを目指して出発。西の沢コースでは、黒松内の農村風景を楽しみながら、羊蹄山の頭を少し見ることもできました。小学2年生の参加者も自分のペースで最後まで歩ききり、到着地のトワ・ヴェールでは、パンヤソーセージなど地元の食材をふんだんに使った昼食を笑顔で食べていました。

黒松内トワ・ヴェール 「チーズクリームのパん」限定発売

トワ・ヴェールのクリームチーズが30%配合されたクリームを100%道産小麦の生地で包み、ほのかにカマンベールの風味に仕上げられています。

道内約500店舗のローソンで**7月25日から8月7日まで**期間限定で販売されます。

シンプルな味ですが、ほおばるほどに北海道の田園風景を感じていただけます。

